

神奈川県内科医学会

平成29年新春学術講演会

平成29年1月19日（木）午後7時15分～9時15分

横浜ベイシェラトンホテル&タワーズ 5F 日輪



開会 神奈川県内科医学会会長 宮川政昭

特別発言 神奈川県内科医学会名誉会長 中 佳一

講演1 (午後7時25分～午後8時10分) 座長 神奈川肝炎対策委員長 岡 正直

「これからのC型肝炎治療」

横浜市立大学附属市民総合医療センター 消化器内科教授 田中克明 先生

インターフェロンなしの経口治療薬も次々と新しいものが登場し、C型肝炎ウイルス排除率も95～100%を達成するようになった今日、今までと様変わりした治療戦略と残された問題点について最新の知識を身につけるチャンスです。知って得する、知らなければ損をする話題の講演です。

講演2 (午後8時10分～午後9時10分) 座長 医薬品評価検討委員長 湯浅章平

「医薬品で健康を害うことのない世界をつくるために」

川崎北合同法律事務所弁護士 湯山 薫 先生

清和総合法律事務所弁護士 服部功志 先生

薬害C型肝炎被害者 浅倉美津子 様

医薬品による健康被害のうち、行政や企業の不適切な行為が関与したことにより、社会問題化したものを「薬害」といいます。過去の薬害としては、サリドマイド事件・スモン事件・薬害エイズ事件・MMRワクチン事件やフィブリノゲン製剤によるC型肝炎集団感染事件などがあります。

なぜこのような事件が繰り返されるのでしょうか？その背景を分析し、今日次々と新しい治療法が臨床の現場にもたらされる中であって、意図せずして加害者となる医師や被害者として苦しむ患者を生み出さないためにどうすればよいのか？臨床医が絶対に知っておかなければならない心得について貴重なお話がいただけるものと思います。

演者は大学の薬学部への出張講演や中学校での特別授業などを数多く行い、医薬品の安全性に対する認識と共に生命の尊さや人権感覚を訴え続けてきました。

閉会 神奈川県内科医学会副会長 出川寿一

※当講演会は日本医師会生涯教育講座1.5単位・CC7（医療の質と安全）

CC15（臨床問題解決のプロセス）が取得できます。

※午後7時より共催のアツヴィ合同会社の製品紹介がございます。

※講演会終了後、情報交換会を用意しております。

2017:
the 50th
anniversary
of KPA

共催 神奈川県内科医学会・アツヴィ合同会社